

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：農林水産費 項：林業費 目：県産材流通対策費

事業名 木質バイオマス利用促進研修事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 森林経営課 木質バイオマス産業係 電話番号：058-272-1111(内4390)

E-mail : c11515@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 250千円 (前年度予算額) 250千円

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	250	0	0	0	0	0	250	0	0
要求額	250	0	0	0	0	0	250	0	0
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

地球温暖化対策や東日本大震災の教訓から再生可能エネルギーに対する期待は高まってきており、この状況の中で、「岐阜県森林づくり基本計画」に基づき未利用材をエネルギー資源として利用を促進するため、木質バイオマスエネルギーの加工施設や利用施設等の整備を推進する必要がある。

近年、受講生の意識の高まりから、より実践的で高度な内容が求められている。

(2) 事業内容

【木質バイオマスエネルギー施設活用研修】

既存の木質バイオマス利用施設の評価や改善に関する現地研修会および優良事例表彰を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

・県10／10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	144	研修会講師・選考会委員報償費
旅費	44	講師・委員費用弁償、打合せ業務旅費
需用費	55	紙代・賞状等の消耗品費、会議費
役務費	7	通信運搬費
合計	250	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画（令和4～8年度）に位置付けられている。

(2) 事業主体及びその妥当性

基本計画で位置付けた県の役割であり、主催者として実施する。

事 業 評 價 調 書 (県単独補助金除く)

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

木質ボイラー施設活用研修を行うことにより、木質バイオマスエネルギーの加工施設や利用施設等の整備を推進し、県産材の木質燃料としての需要拡大を図る。

県内の先進的な取組み事例を表彰することで、関係者のモチベーションアップに繋げるとともに、先進事例を他地域へ水平展開し取組みの拡大を図る。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R2)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①木質バイオマス利用量（千m ³ ）	128	197	208	250	250	102%

○指標を設定することができない場合の理由

(これまでの取組内容と成果)

令 和 4 年 度	◆木質バイオマスボイラー施設活用研修会の開催 令和4年12月22日：11名
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令 和 5 年 度	◆木質バイオマスボイラー施設活用研修会の開催 令和6年2月6日：15名
	指標① 目標：154千m ³ 実績：145千m ³ 達成率： 94%
令 和 6 年 度	◆木質バイオマスボイラー施設活用研修会の開催 令和6年12月25日：15名
	◆木質バイオマス利用優良事例表彰の実施 令和6年11月2日に5者を表彰
	指標① 目標：194千m ³ 実績：197千m ³ 達成率：102%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 3	木質バイオマス利用施設の整備に向けた検討が進んでいる。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	(評価) 2
木質バイオマスボイラー施設活用研修会を開催したところ、15名が参加。 木質バイオマス利用優良事例として、5者を表彰。	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	(評価) 2
開催回数等を見直すなどして、経費の節減を図っている。	

(今後の課題)

- ・事業が直面する課題や改善が必要な事項

表彰は、取組み事例が少ないとから、募集にあたって掘り起しが必要となる。

(次年度の方向性)

- ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
木質燃料としての利用を促すことにより、県産材の需要拡大が実現可能となることから、引き続き本事業を実施する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	